

山村の元気は、日本の元気

山村振興事例集

はじめに

山村地域においては、若者の流出による人口の減少や、高齢化の進行により、地域の活力が低下するとともに、国土・自然環境の保全、水源のかん養等、国民生活にとって欠かせない重要かつ多面的な機能の低下が懸念されています。また、自治体の財政難や、国際社会も巻き込む競争の激化等を要因とした地域産業の低迷や、集落の消滅も社会問題化している状況にあります。

一方で、都市住民のふるさと回帰志向の高まりの中で、若者や団塊世代の都市から農山漁村への移住や、森林資源の充実など、山村地域の振興にとって有効な要素も見出すことができるようになってきています。

このため、農林水産省農村振興局では、近年の山村をめぐる諸情勢の中で、各地域に共通する山村振興に向けた主要な課題を4つに分け、これら課題等に対して、行政や住民等によって効果を挙げている取組方策について、調査・分析を行い、このたび、『山村の元気は、日本の元気－山村振興事例集－』として取りまとめました。

本事例集が、山村地域にあって、様々な課題に向き合い、自ら考え行動するといった挑戦への意欲向上と、具体的取組を行うにあっての創意工夫に役立てられることを期待します。

平成21年3月

農林水産省農村振興局

本事例集の見方

本事例集は、山村地域を取りまく様々な状況を踏まえ、山村が抱える主要課題を以下の4つに分類しました。

- 課題1：山村地域の農林業再生
- 課題2：山村集落での生活機能の維持・確保
- 課題3：都市との交流、移住・定住の促進
- 課題4：山村地域の歴史・文化・景観の保全・活用

また、各課題に対して、合わせて20の対策を取り上げました。課題ごとにそれぞれの対策において、「特集事例」、「参考事例」を紹介しています。巻末には取組内容による逆引き索引を用意しました。

特集事例については、4ページの構成で、以下の6項目について整理しています。

- 背景と課題
- 取組と成果
- 活用した組織と制度
- 取組のきっかけ
- 山村振興のキーポイント
- 今後の課題・展望

また、取組の実践者らの「生の声」を、インタビューとしてまとめています。

1 -1 農林業の新たな担い手

自伐林家の森の復活で森林と山村の再生！ 林地残材の収集運搬システムが地域システムに昇華

土佐の森・教団では環境が恵む山村において、森林ボランティアや退職者のセカンドワークとして参加可能な森林整備活動に取り組んでいる。中でも林地残材の収集運搬システムの導入は、森林整備による間伐材収入とあわせて副業的な収益も得られ、環境保全だけでなく新たな林業形態の仕組みを構築している。

背景と課題

山林の荒廃と林業従事者不足

高知県下では、森林組合による一括集約林業が主流になっているが、材料価格の低迷等によりコスト面等で十分な森林管理ができず、山林の荒廃が起ころうとした。さらに県内山村部では過疎・高齢化の進行している集落が多く、土佐の森・教団が主に活動する日本山村においても林業の収入源では生活がままならない集落が減少し、放置林が増加していった。また、一般的な林業界における人口構造と同様に、森林組合等のプロ集団は存在するが、労働環境や技術面において林業に従事するハードルが高いことが要因となり、下部を支える季節林業家やアルバイト等の従事者が大幅に少ない状況にあった。

取組のきっかけ

前知事が森林ボランティアを提唱

機本大二郎前高知県知事が県内の放置林対策として、森林ボランティアの必要性を提唱し、当時高知県職員であった松本氏（現土佐の森・教団副理事長）がボランティア団体5～6団体の立ち上げを担当し、「土佐の森・教団」の前身となる「源流森林教団」がそのうちのひとつとして平成14年に設立された。

活動はボランティアによる放置林の森林整備を目的とし、森林管理とともにボラバード的に「短期間・程度」の報酬を参加者へ還元することにより、集約林業からの脱却と自伐林家の森の復活を目指す。各地域で活動するボランティアの育成、技術向上支援を行ってきた。

その後、平成17年に活動拠点を日本山村町（現いの町）に移し、団体名も現在のものに改め、山村振興活動を続けている。

取組と成果

低コストの森林整備、副業やアルバイト式林業家の増加

様々な林業スタイルによる森林整備
間伐、林道整備、間伐設置材の搬出などを定期活動および特別活動にて実施。また、作業にあたっては「土佐の森方式の軽便搬送技術」など独自の集材・搬出技術などを研究しながら、大規模投資のいらない森林整備を進めている。

地域通貨「モリ（森）」券の発行
団体が企画する森林ボランティア活動の参加者に対して、地場産品との交換ができる森林証券制度「モリ（森）」券を発行している。

様々な交流活動と人材育成、学習事業の実施
県内各地域の森林ボランティア団体と所属する活動家の育成、グリーンツーリズム活動、その他森林・林業関係のイベント（森林・林業の研修会、講習会、都市と農村の交流会、ボランティア祭り、ログハウス教室等）の実施、県の森林環境税の支援事業を活用した森林環境学習を行っている。

成果

バイオマスプラントの安定稼働
当団体は移動ランインの1割を収獲量の「ムル」として、伐採現場や林道整備現場の稼働により、予想を超える稼働が集まり、現在はシステムだけで稼働100%を超える稼働が行われている。

健全な山林管理
本団体が活動した森林は、産林の伐採はなく、適切な間伐や林道整備が行われることで、手入れの行き届いたものとなり、間伐材費で買われていた山林が、本来の山としての姿を取り戻している。

林業従事者の増加
副業的な収入や人材育成等の収入により、林業への参加が比較的手軽になったため、活動従事者増加の名目まで増え、そのうち半分以上が専業主婦となった。農家の副業として活動を行う人も増えた。

おこい遊びや地域福祉に寄与
労働者に対する社会的に与えられる「森」券は、金銭的に大きくなくとも、個人単位やボランティアの活動の収入人として受け止められており、地場産品と交換されることで地域経済への還元も図られている。また、「モリ（森）」券への協賛金を付加したカーボンオフセット商品の開発にもつながっている。

高知県の山村振興の町

高知県の山村振興の町

目次：山村地域の課題と対応策一覧

はじめに 3

本事例集の見方 4

目次：山村地域の課題と対応策一覧 6

地域別索引 12

事例集 ▼

課題1. 山村地域の農林業再生 / 38事例

特集 / 10事例

対策1. 農林業の新たな担い手

【特集】1-1 高知県の町（NPO法人土佐の森救援隊） 16
自伐林家の森業の復活で森林と山村の再生！
林地残材の収集運搬システムが地域システムに昇華

【特集】1-2 鳥取県鳥取市（とっとりふるさと就農舎） 20
空き庁舎を就農支援施設に活用
2ヵ年長期研修で新規就農を目指す若者を支援、農業・地域を支える仲間に！

対策2. 林業維持の集団化・組織化

【特集】2-1 石川県南西部（かが森林組合） 24
林産組合長制度による組織的な集団間伐の推進等を通じた
「地域ぐるみの森林管理」の実践

対策3. 農林産資源のブランド化

【特集】3-1 山形県真室川町（真室川町うるしセンター） 28
地元のうるしを使ってオリジナルの漆器を開発
郷土料理を食べる器“えっぺ椀”

対策4. バイオマス等の展開

【特集】4-1 秋田県能代市（能代森林資源利用協同組合） 32
廃材を原材料にしたバイオマス発電・供給による
地域内のエネルギー循環モデルの構築

対策5. 地域会社の立ち上げ

【特集】5-1 福井県おおい町（株式会社名田庄商会） 36
人づくりから始まる村民商社の設立
名田庄商会の運営による地域活性化

対策6. 特産品の生産・加工・販売

【特集】6-1 千葉県南房総市（株式会社とみうら） 40
農商工が連携！
道の駅を拠点に広域ネットワークを活かした特産品の開発

対策7. 耕作放棄地の活用

- | | | |
|---------|--|----|
| 【特集】7-1 | 愛媛県伊予市（伊予農業高等学校）
高等学校が中心となって取り組む！
耕作放棄地を利用したひまわり栽培とバイオマスエネルギーの供給 | 44 |
|---------|--|----|

対策8. 地域固有の希少作物の活用

- | | | |
|---------|--|----|
| 【特集】8-1 | 高知県大豊町（大豊町碁石茶生産組合）
産官学が連携！
幻のお茶『碁石茶』のブランド化による山村の元気復活 | 48 |
|---------|--|----|

対策9. 鳥獣被害への対応

- | | | |
|---------|--|----|
| 【特集】9-1 | 群馬県中之条町（沢田農業協同組合）
捕獲したイノシシを地域の特産品へと加工
獣害の軽減と地域ブランド構築へのスタート | 52 |
|---------|--|----|

参考 / 28事例

- | | | |
|-----|--|----|
| 1-3 | 岐阜県郡上市（NPO法人Woodsman Workshop）
稼げる林業の担い手を育成する、新規林業就業者と技術指導者への研修活動 | 56 |
| 1-4 | 長野県上伊那郡域（森だくさんの会女性部）
女性による森林ボランティアと間伐材の活用 | 56 |
| 1-5 | 宮崎県西米良村（株式会社米良の庄）
都市と山村との交流を活発化させる、「西米良型ワーキングホリデー」 | 57 |
| 1-6 | 長野県飯田市（飯田市役所）
農繁期の人手不足を解消、就農希望者と農家を結ぶワーキングホリデー | 57 |
| 2-2 | 宮崎県諸塚村（財団法人ウッドピア諸塚）
経済性を高くして持続可能な森をつくる、若い林業関係者の集団化 | 58 |
| 2-3 | 高知県四万十町（しまんと町地域雇用創造協議会）
木材の利活用を進めて雇用につなげる、四万十式作業道による森づくり | 58 |
| 2-4 | 茨城県常陸太田市（森林(杜)づくり隊）
100年後の杜(もり)をつくりたい！ ボランティア組織による植林活動 | 59 |
| 3-2 | 高知県梼原町（梼原町森林組合）
エコ・ブランド化による林業の活性化と森林資源循環モデルのまちづくり | 59 |
| 3-3 | 北海道下川町（下川町森林組合）
産官学の連携による新商品の開発、循環型林業経営を考えた地域づくり | 60 |
| 3-4 | 北海道江差町・上ノ国町・乙部町（北の桐を創る会）
「北限の桐」の復興を目指した桐産業の復興と地域づくり | 60 |
| 3-5 | 山形県鶴岡市（田川赤かぶ漬グループ）
認証制度による高付加価値化、伝統的焼畑農業でつくられる赤かぶ漬 | 61 |
| 4-2 | 岡山県真庭市（社団法人真庭観光連盟）
豊かな自然を活かしたバイオマスタウン構想とバイオマスの観光資源化 | 61 |
| 4-3 | 山梨県早川町（早川町役場）
大学と協同で進める都市農村交流型観光と木質バイオマス利用の融合 | 62 |
| 4-4 | 栃木県那須塩原市（那須野ヶ原土地改良区）
エネルギーの地産地消！ 農業用水を利用した小水力発電と酪農バイオマス活用 | 62 |
| 5-2 | 徳島県那賀町（株式会社ききとうむら）
地域の資源が地域経済を明るくする、村民セクターが運営する食品加工会社 | 63 |

6-2	岐阜県恵那市（株式会社山岡のおばあちゃん市） ふるさとの手づくりにこだわった、お客さんとふれあうおばあちゃん市	63
6-3	島根県津和野町（商人榊生産組合） 不利な耕作条件を逆手にとった農業、榊の生産で山間地域の農業振興を図る	64
6-4	宮城県加美町（農業組合法人やくらい土産センターさんちゃん会） 中山間地域の食材に注目、地元農家による地場産品のみを提供する直売市	64
6-5	広島県大竹市（松ヶ原振興協議会） 朝収穫した新鮮な野菜を自分の手で、農家による地元農産物の直販市	65
6-6	埼玉県皆野町（皆野町商工会） 地域の風物詩の維持を、住民と企業が協働した特産品づくり	65
6-7	群馬県富岡市（甘楽富岡蚕桑研究会） 伝統産業の維持・発展を目指した新しく個性的な絹製品づくり	66
7-2	愛知県一宮市（一宮市女性農業者会議九日市場グループ） 耕作放棄地を活用した女性農業者グループならではの花植え活動	66
7-3	徳島県三好市（NPO法人もっともっと井川） 地域密着型NPOが耕作放棄地を5アールの茶園に復活	67
7-4	神奈川県小田原市（小田原市役所） 耕作放棄地の再生・利活用、遊休農地解消と都市農村交流	67
8-2	和歌山県北山村（北山村役場） 希少作物「じゃばら」のブランド化	68
8-3	群馬県片品村（有限会社尾瀬ドーフ） 豆腐づくりがきっかけに、衰退した「幻の大豆」の復活	68
9-2	京都府舞鶴市・綾部市（京都府中丹広域振興局） バッファゾーンの設置、牛の放牧による「人とケモノの境界」づくり	69
9-3	島根県美郷町（おおち山くじら生産者組合） 被害対策から資源化へ、駆除イノシシの地域ブランド「おおち山くじら」	69

課題2. 山村集落での生活機能の維持・確保 / 19事例

特集 / 7事例

対策10. 新しいコミュニティ形成による集落運営

【特集】10-1	山口県山口市（仁保地域開発協議会） 「自分たちの地域は自分たちで守る！」 新たな自治組織による“近代的いなか社会”づくり	72
【特集】10-2	長野県栄村（栄村役場） 独自の総合生活支援体制による 自立自営の村づくり	76
【特集】10-3	新潟県上越市（NPO法人雪のふるさと安塚） 「豪雪」をプラスに考える発想から受け継ぐ 市町村合併後の安心して暮らせる地域づくりの継続	80

対策11. 生活サービス機能の低下への対応

【特集】11-1	京都府京丹後市（有限会社常吉村営百貨店） 地域の手でJA機能を代替 住民自主運営の百貨店が地域の生活拠点に！	84
----------	--	----

対策12. 公共交通システムの確保

- | | | |
|----------|---|----|
| 【特集】12-1 | 長野県中川村（NPO法人ふるさとづくり・やらまいか）
地元建設者と自治体が連携！
村営バスと乗合いタクシーの交通システムを構築 | 88 |
|----------|---|----|

対策13. 中山間部への医療・福祉サービスの提供

- | | | |
|----------|--|----|
| 【特集】13-1 | 熊本県多良木町（球磨郡公立多良木病院）
山村地域の医療を支える
へき地医療拠点病院からの訪問診療 | 92 |
|----------|--|----|

対策14. 高齢者の生きがい、健康づくり

- | | | |
|----------|--|----|
| 【特集】14-1 | 新潟県津南町（津南町役場）
元気な高齢者の健康づくり運動の全年齢別への展開で
一層の医療・福祉関係費用を低減 | 96 |
|----------|--|----|

参考 / 12 事例

- | | | |
|------|---|-----|
| 10-4 | 広島県三次市（作木町自治連合会）
行政による再編、民間による支援を受けて強化された集落の自治機能 | 100 |
| 10-5 | 島根県邑南町（NPO法人ひろしまね）
縮小・廃止が進む公共サービスを代行提供、NPOが中心の「もう一つの役場」 | 100 |
| 10-6 | 京都府南丹市（旧美山町協議会）
自らの地は自らの手で、住民自治組織による住みよい集落環境づくり | 101 |
| 10-7 | 鹿児島県鹿屋市（柳谷（やねだん））
感動の共有が集落の底力、行政に頼り過ぎない地域づくり | 101 |
| 11-2 | 三重県松坂市（コミュニティうきさとみんなの店）
住民の不安は住民の手で解消、自治会が運営する日用品店兼簡易郵便局 | 102 |
| 11-3 | 鳥取県江府町他（有限会社安達商事）
舞台を移動販売車に変えての、心の通った昔ながらの店舗販売 | 102 |
| 12-2 | 山形県飯豊町（飯豊町社会福祉協議会）
町民の足として定着しつつあるデマンド交通システム | 103 |
| 12-3 | 島根県雲南市（雲南市役所）
路線バスに代わる足を、コストとメリットを重視した交通機関の検討 | 103 |
| 13-2 | 岡山県新見市（NPO法人きらめき広場）
保険・医療・福祉・教育・文化等の機能が集約されたまちづくりの拠点運営 | 104 |
| 13-3 | 広島県尾道市（尾道市公立みつぎ総合病院）
病院と行政が一体となった、保健・医療・介護・福祉の地域包括ケアシステム | 104 |
| 14-2 | 長野県小川村（株式会社小川の庄）
元気な高齢者が資本、生涯現役主義を貫く小川の庄のおやきづくり | 105 |
| 14-3 | 福島県西会津町（西会津町役場）
健康な土づくりで健康なまちづくり、ミネラル野菜で元気な高齢者の増加を目指す | 105 |

対策15. 都市部の多様な主体との連携

- | | | |
|----------|---|-----|
| 【特集】15-1 | 岩手県岩泉町（岩泉町役場）
森林認証制度活用と企業CSR活動の連携が生む
森林管理と人的交流の展開 | 108 |
|----------|---|-----|

対策16. 体験・学習拠点としての山村地域の活用

- | | | |
|----------|--|-----|
| 【特集】16-1 | 福島県只見町（森林の里応援団）
地域住民の協力による積極的運営が支える
「森林の分校ふざわ」 | 112 |
|----------|--|-----|

対策17. 都市の子どもの教育の場としての山村地域の提供

- | | | |
|----------|---|-----|
| 【特集】17-1 | 大分県宇佐市（松本イモリ谷楽分）
「足を引っ張らずに、手を引っ張りあう」
住民が一体となった集落グリーンツーリズム | 116 |
|----------|---|-----|

対策18. 二地域居住・移住等の推進

- | | | |
|----------|---|-----|
| 【特集】18-1 | 広島県安芸高田市（川根振興協議会）
住民の手で集落点検・将来構想づくりを実施！
“小さな行政”によるトータルでの地域づくり | 120 |
|----------|---|-----|

参考 / 16事例

- | | | |
|------|--|-----|
| 15-2 | 山梨県道志村（道志水源林ボランティアの会）
下流の大都市が水源の村を守る、横浜市・道志村協働での水源林保全活動 | 124 |
| 15-3 | 山梨県小菅村（多摩川源流大学）
上流から下流まで、地域住民と東京の学生が一体となった多摩川源流大学 | 124 |
| 15-4 | 長野県伊那市（伊那市役所）
森林整備によってCO2排出量を取引、自治体間での「カーボン・オフセット」 | 125 |
| 16-2 | 新潟県南魚沼市（NPO法人ECOPLUS）
集落すべてが学びの場、人口わずか200人の集落での自然学校 | 125 |
| 16-3 | 長野県信濃町（癒しの森事業推進委員会）
町をあげて森林療法に取り組む、官民協働での癒しの森事業 | 126 |
| 16-4 | 滋賀県米原市（米原エコミュージアム地域再生協議会）
エコミュージアム構想を取り入れた農山村体験ツアーの実施 | 126 |
| 16-5 | 広島県世羅町（世羅高原6次産業ネットワーク）
1次産業から3次産業まで、地域の連携による都市農村交流の増加 | 127 |
| 16-6 | 福島県南会津町（株式会社南会津観光公社）
地域の観光資源を一括管理、専門家による地域観光のコーディネート | 127 |
| 16-7 | 福岡県朝倉市（共星の里国際芸術研究所）
廃校が現代アートの発信地に、自然と人と芸術が響きあう「共星の里」 | 128 |
| 17-2 | 高知県四万十市（幡多広域観光協議会）
何もないからこそ残った豊かな自然を活かしての環境体験型教育旅行 | 128 |
| 17-3 | 長野県飯山市（財団法人飯山市振興公社）
自然だけを売りにしない、精力的な活動と人材が支える森の家 | 129 |
| 18-2 | 島根県江津市（NPO法人結まーるプラス）
公的機関、民間企業、NPO、三位一体で行う住み替え支援制度 | 129 |

18-3	和歌山県那智勝浦町（色川地域振興推進委員会） 地域住民と行政が協力、互いに手を取り合っの定住促進活動	130
18-4	北海道上士幌町（上士幌町交流と居住を促進する会） 都市部企業との連携による定住・二地域居住の推進	130
18-5	和歌山県古座川町（古座川町産業振興委員会） 産業振興と定住促進の同時進行で地域を活性化	131
18-6	兵庫県多可町（多可町役場） 都市住民と地域住民の交流を生む、滞在型市民農園「クラインガルテン」	131

課題4. 山村地域の歴史・文化・景観の保全・活用 / 11事例

特集 / 3 事例

対策19. 歴史・文化遺産の保全、生活文化の継承

【特集】19-1	鳥取県智頭町（NPO法人新田むらづくり運営委員会） 20戸足らずの集落がNPO設立 “交流”と“文化”を軸に小さな自治体づくり	134
【特集】19-2	福島県昭和村（昭和村役場） 600年の歴史を誇る「からむし」栽培 伝統を引き継ぐ村外出身の「織姫」たち	138

対策20. 棚田・里山の維持による良質な景観の保全

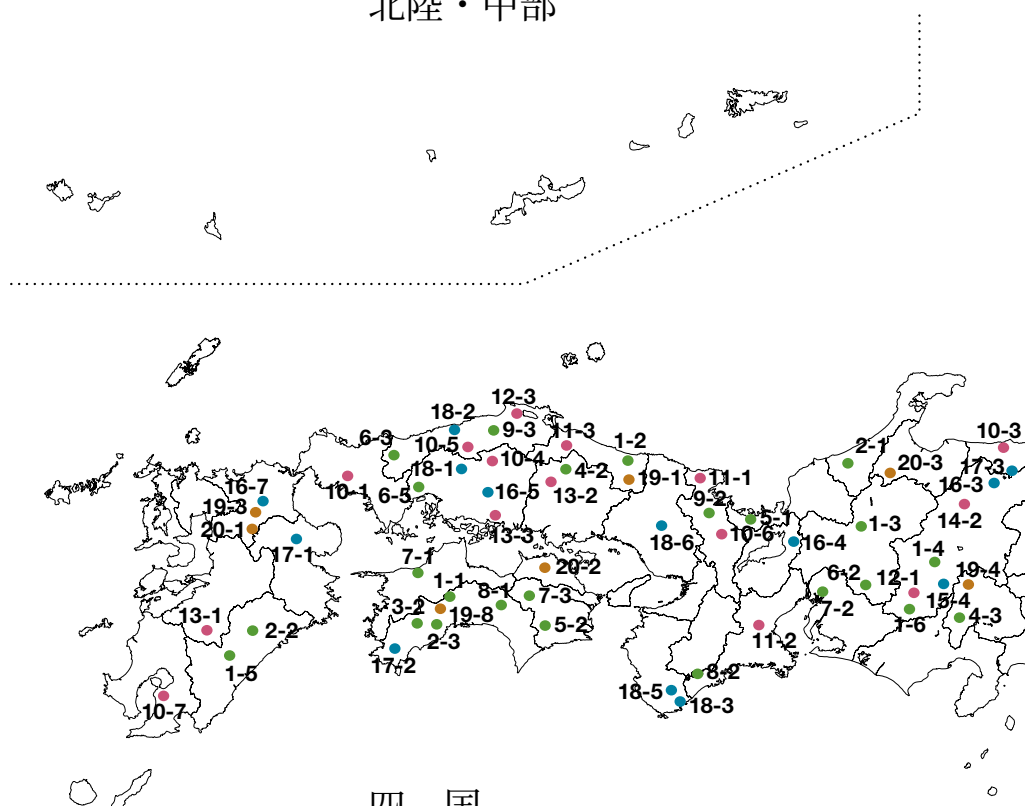
【特集】20-1	福岡県黒木町（山村塾） 都市と農山村住民が一体となって里山や棚田の保存活動を実施 美しい景観の保全へ	142
----------	--	-----

参考 / 8 事例

19-3	福岡県うきは市（うきは市役所） 先人の歴史的な偉業を地域の誇りとして受け継ぐ地域づくり	146
19-4	山梨県北杜市（NPO法人文化資源活用協会） 地域住民と都市部の大学生を結ぶ、古民家の修復再生事業	146
19-5	北海道根室管内（中標津町他）（遺産サポート倶楽部なかしべつ） 現代に残る大正ロマン、根釧台地の格子状防風林の保全・活用運動	147
19-6	北海道上士幌町（NPO法人ひがし大雪アーチ橋友の会） 住民が主体となって行政と協働、アーチ橋梁群を見守るまちづくり	147
19-7	岩手県川井村（夏屋ろばた塾） 「地元学」から始まる文化の継承活動と地域の活性化	148
19-8	高知県仁淀川町（焼畑による山おこしの会） 焼畑で山おこし、焼畑の価値を再発見し文化復興から地域振興へ	148
20-2	香川県綾川町（棚田ビレッジ会） 都市住民が荒廃した農地を再生、ボランティアによる集落の資源管理	149
20-3	富山県南砺市（みんなで農作業の日IN五箇山実行委員会） みんなで農作業！ 都市農村交流による農村景観の維持	149

逆引き索引	150
-------	-----

中 国

北陸・中部

四 玉

九州

徳島県	5-2	那賀町	株式会社きとうむら
	7-3	三好市	NPO法人もっともっと井川
香川県	20-2	綾川町	棚田ビレッジ会
愛媛県	7-1	伊予市	伊予農業高等学校
高知県	1-1	いの町	NPO法人土佐の森救援隊
	2-3	四万十町	しまんと町地域雇用創造協議会
	3-2	梶原町	梶原町森林組合
	8-1	大豊町	大豊町基石茶生産組合
	17-2	四万十市	幡多広域観光協議会
	19-8	仁淀川町	焼畑による山おこしの会

愛知県 7-2 一宮市 一宮市女性農業者会議九日市場グループ
 滋賀県 16-4 米原市 米原エコミュージアム地域再生協議会
 京都府 9-2 舞鶴市・綾部市 京都府中丹広域振興局
 10-6 南丹市 旧美山町協議会
 11-1 京丹後市 有限会社常吉村営百貨店
 兵庫県 18-6 多可町 多可町役場
 和歌山県 8-2 北山村 北山村役場
 18-3 那智勝浦町 色川地域振興推進委員会
 18-5 古座川町 古座川町産業振興委員会
 三重県 11-2 松坂市 コミュニティうきさとみんなの店

地域別索引

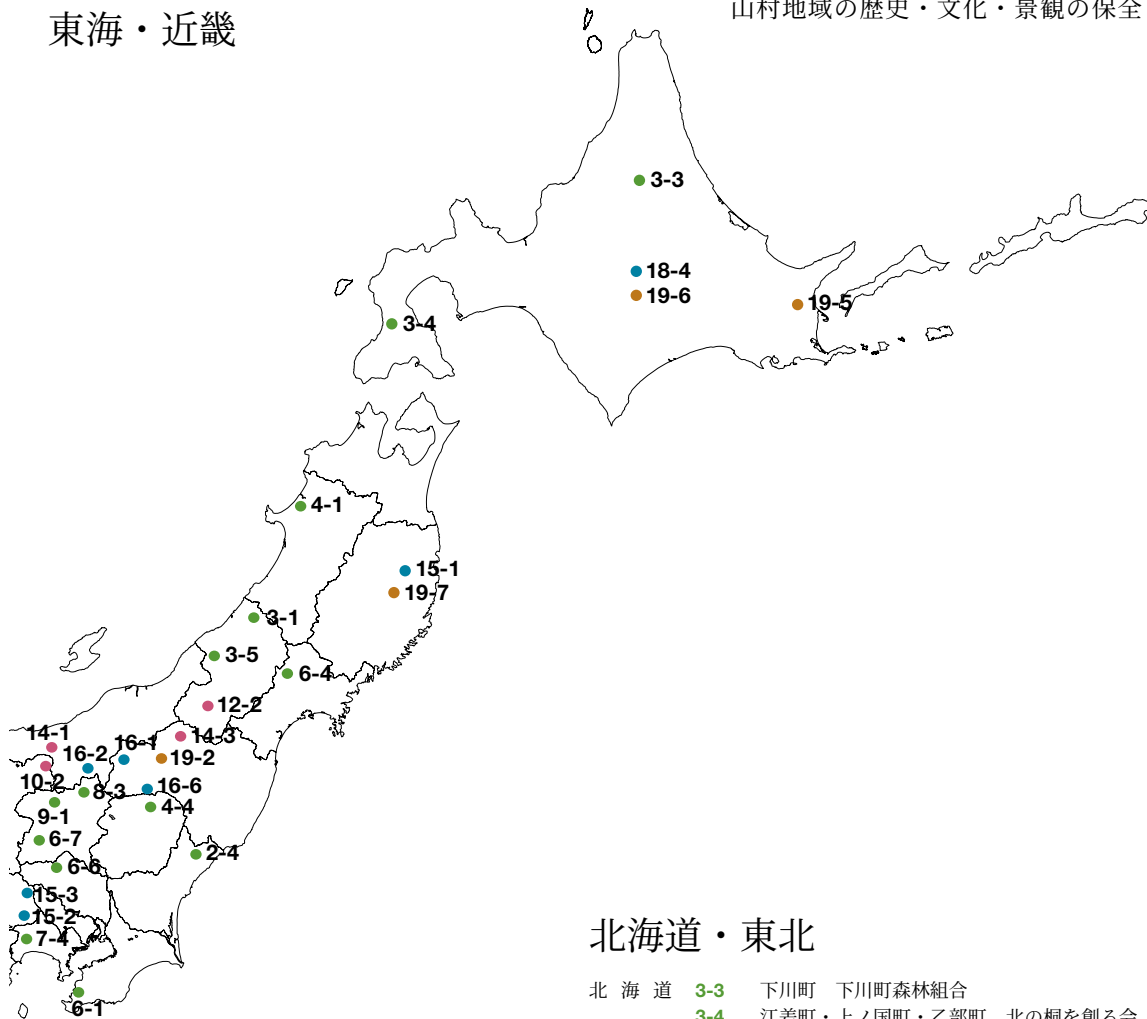
山村地域の農林業再生 ■

山村集落での生活機能の維持・確保 ■

都市との交流、移住・定住の促進 ■

山村地域の歴史・文化・景観の保全・活用 ■

東海・近畿



北海道・東北

北海道 3-3 下川町 下川町森林組合
 3-4 江差町・上ノ国町・乙部町 北の桐を創る会
 18-4 上士幌町 上士幌町交流と居住を促進する会
 19-5 根室管内 遺産サポート倶楽部なかしべつ
 19-6 上士幌町 NPO法人ひがし大雪アーチ橋友の会
 秋田県 4-1 能代市 能代森林資源利用協同組合
 岩手県 15-1 岩泉町 岩泉町役場
 19-7 川井村 夏屋ろばた塾
 山形県 3-1 真室川町 真室川町うるしセンター
 3-5 鶴岡市 田川赤かぶ漬グループ
 12-2 飯豊町 飯豊町社会福祉協議会
 宮城県 6-4 加美町 農業組合法人やくらい土産センターさんちゃん会
 福島県 14-3 西会津町 西会津町役場
 16-1 只見町 森林の里応援団
 16-6 南会津町 株式会社南会津観光公社
 19-2 昭和村 昭和村役場

関東

栃木県 4-4 那須塩原市 那須野々原土地改良区
 茨城県 2-4 常陸太田市 森林(杜)づくり隊
 群馬県 6-7 富岡市 甘楽富岡蚕桑研究会
 8-3 片品村 有限会社尾瀬ドーフ
 9-1 中之条町 沢田農業協同組合
 埼玉県 6-6 皆野町 皆野町商工会
 千葉県 6-1 南房総市 株式会社とみうら
 神奈川県 7-4 小田原市 小田原市役所